

平成29年度 港区運営方針

(区長:筋原 章博)

◆計画

| |
|------------------------------|
| 区の目標（何をめざすのか） |
| いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち 港区の実現 |

| |
|--|
| 区の使命（どのような役割を担うのか） |
| 豊かなコミュニティの形成や多様な協働による活力とうるおいのある地域社会の実現に向けて、区内の実情や特性に即した施策・事業を総合的に展開し、まちづくりを推進するとともに、区民が利用しやすい親切で信頼される区役所づくりを進める。 |

| |
|---|
| 平成29年度 区運営の基本的な考え方（区長の方針） |
| 港区民のつながりの強さや、築港・天保山エリアが持つ歴史的文化的な魅力など、港区の「強み」を活かして、「区民主体のまちづくり」、「安全・安心・快適なまちづくり」、「健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」、「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまちづくり、「訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり」の実現をめざして施策・事業に重点的に取り組む。 |

| | |
|---|---|
| 重点的に取り組む主な経営課題（様式2） | |
| 経営課題の概要 | 主な戦略 |
| 【経営課題1】 区民主体のまちづくりに向けて、地域課題を共有しながら活動が可能な範囲である小学校区の単位で、各種地域団体や企業、NPOなど多様な活動主体が地域の将来像を共有しながらそれぞれの特性を発揮し、さまざまな地域課題に取り組む自律的、持続的な地域運営を進める必要がある。 | 【1-2 自律した地域運営の支援】 各小学校区において、地域住民による自律的、持続的な地域運営の実現に向けて、地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体が幅広く参画し、地域特性に応じて課題の解決に向けて協働して取り組む「地域活動協議会」の活動を促進する。また、自主財源の確保や社会的信用を高めるための取組を、中間支援組織を活用して支援する。 |
| 主な具体的取組（29年度予算額） | |
| 【1-2-1 地域活動協議会に対する財政的支援】 地域活動協議会の活動を促進する。(27,192千円) | |
| 経営課題の概要 | 主な戦略 |
| 【経営課題2】 安心・安全・快適なまちづくりに向けて、自助・共助・公助の役割分担のもと、大規模災害時に迅速かつ確かな対応が行えるよう、区の特性を踏まえた防災対策を強化するとともに、区民の防災意識をさらに高め、地域防災力を強化する必要がある。また、特に子どもを犯罪から守る取組を強化し、犯罪が発生しにくいまち、区民が安心して暮らせるまちづくりをめざす。 | 【2-1 防災対策の強化】 地域防災力の強化に向けて、地域主体の防災訓練や災害時に地域で活動する担い手の確保、避難行動要支援者の避難支援の取組等を支援する。 【2-2 防犯対策の強化】 警察や地域等と連携し、区民への啓発活動や犯罪発生情報の発信を行い、臨機かつ機動的な防犯活動を行う。防犯カメラの設置を強化するとともに、地域団体等による防犯パトロールなどの自主防犯活動を支援する。 |
| 主な具体的取組（29年度予算額） | |
| 【2-1-1 地域防災の活動支援】 地域住民による避難所開設・運営訓練の支援、地域における防災学習会の開催支援(1,231千円) 【2-2-1 地域防犯啓発】 警察と連携した犯罪情報の発信及び地域と協働した防犯意識啓発活動(414千円) | |
| 経営課題の概要 | 主な戦略 |
| 【経営課題3】 健やかにいきいきと暮らせるまちづくりに向けて、支援を必要とする人が地域で安心して暮らせるよう、地域に関わる多様な活動主体が協働して、地域社会全体で支えていく取組を促進するとともに、地域包括ケアシステムを構築する必要がある。また、食生活の改善や適度な運動など、健康的な生活習慣を身につけるとともに、生活習慣病の予防や疾病の早期発見が重要であり、区民の主体的な健康づくりを促進する必要がある。 | 【3-1 地域福祉の推進】 平成25年度に全地域で策定された「地域福祉活動計画」に基づき、各地域の活動が主体的・継続的に推進されるよう支援する。 【3-2 地域包括ケアシステムの構築】 高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるように、包括的かつ継続的に在宅医療や福祉サービス等を提供できる体制を構築する。 【3-4 健康寿命の延伸】 健康的な生活習慣についての啓発を行い、区民の主体的な健康づくりを支援する。 |
| 主な具体的取組（29年度予算額） | |
| 【3-1-2 高齢者等要支援者の見守り支援】 高齢者等の相談や見守り支援、シニア・サポート事業のマッチング等により、地域における住民主体の福祉コミュニティづくりを推進する。(14,732千円) 【3-2-1 在宅医療・介護連携の推進】 在宅医療・介護サービスを提供できる体制を構築するための取組を進める。(－千円) 【3-4-1 区民の健康増進】 運動サポーターと協働して健康アップを図り、港区健康月間には健康づくりイベントに加えて健康増進活動を行っている団体やグループ等と連携して集中的に啓発事業を行うなど、区民の主体的な健康づくりの支援を行う。(527千円) | |

| 経営課題の概要 | 主な戦略 |
|---|---|
| <p>【経営課題4】 「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまちづくりに向けて、子どもたちが自ら学び、考え、表現し、課題を解決できる力を育むため、分権型教育行政を推進し、各学校園と連携して児童・生徒の学力・体力および教育環境の向上を図っていく必要がある。子育てしやすい環境づくりについては、区内の子育て支援団体やグループの活動を充実するとともに、子育て世代が住みたくする魅力の創造・発信を行う必要がある。また、「子どもの生活に関する実態調査」で明らかになった課題に対応する必要がある。</p> | <p>【4-1「子どもの学び」の応援】 家庭学習の促進や港区の強みを活かした教育事業や特色ある学校づくりの支援に取組むとともに、「子どもの生活に関する実態調査」で明らかになった課題など、福祉的課題等をかかえる児童・生徒とその家庭への支援を行う。また、学校ボランティア活動等の推進や地域と連携した子どもの見守り、健全育成に取組む。 【4-2「子育て世代」の応援】 多様な保育サービスの充実を図り、待機児童ゼロに向けた取組を進める。また、子育て支援団体等と連携し、子育てについての相談体制を整え、区内の多様な子育て関係情報をわかりやすく提供する。</p> |
| <p>主な具体的取組（29年度予算額）</p> | |
| <p>【4-1-3 家庭学習促進】家庭学習を促進するため、「港区版 家庭学習の手引き」の活用を図るとともに、大阪市塾代助成事業を活用し、学習ノウハウ等も学ぶ「港エンパワメント塾」を区内地域集会所等で開設するなどの学習環境づくりに取組む。(2,560千円) 【4-2-3 子育て相談機関による支援の充実】子ども・子育てプラザによる子育て支援講座などの開催、子育てサロンやサークルの活性化に向けた支援を実施する。また、子育て支援機関が要保護児童の情報を共有し、相談機能や対応力を向上させる。(千円)</p> | |
| 経営課題の概要 | 主な戦略 |
| <p>【経営課題5】 区内の魅力ある地域資源を広く周知活用しながら、地域、商店、企業等の様々な主体が連携協働して取組む機会の提供を行い、ビジネスチャンスにつなげることで、地域の活性化を図っていく必要がある。 築港・天保山エリアの豊富な観光資源を活かし、広域的な視点からの観光施策と連携して、まちづくりの視点から地域の活性化を図る必要がある。</p> | <p>【5-1 地域資源を活かしたまちの活性化】 区内の特色ある事業者の紹介や「みなトクモン」などによるまちの魅力の発信に取組む。また、ビジネスチャンス拡大に向けた商工業者間の交流機会を提供するとともに、地域や事業者等との連携による地域資源を活かした商店街の取組を支援する。 【5-3 築港地区のにぎわいづくり】 大阪港開港150年を契機としたイベントを実施するなど民間活力によって豊富な観光資源を活性化するとともに、観光施策と連携して官民協働により中長期的なまちづくり計画の策定に取組む。</p> |
| <p>主な具体的取組（29年度予算額）</p> | |
| <p>【5-1-2 港区の魅力発掘・創出】港区の魅力をモチーフにしたオリジナルな商品等を開発する事業者等を支援し、港区の名物「みなトクモン」として積極的な広報・周知により、区民の「わがまち」への愛着の醸成と地域経済の活性化をめざす。(1,369千円) 【5-3-2 大阪港開港150年を契機としたベイエリア魅力向上事業】大阪開港150年を記念し、大阪の舟運と大阪港築港の歴史を市民に広くアピールするため、大阪城・中之島周辺と築港・天保山エリアを舟で結ぶとともに、同エリアで市民参加型のイベントを実施する。(1,596千円)</p> | |
| 経営課題の概要 | 主な戦略 |
| <p>【経営課題6】 区内の実情や特性に即して施策・事業を総合的に展開するとともに、その成果を区民が評価し、施策事業の改善や新たな展開につなげていく必要がある。</p> | <p>【6-2 区政の参画と協働による区政運営】 区政運営について、区政会議や区民モニターアンケートなどを通じて、計画段階から多様な区民の声を反映させながら進めるとともに、より多くの区民からの評価をいただき区政に反映させる。</p> |
| <p>主な具体的取組（29年度予算額）</p> | |
| <p>【6-2-1 区政会議の運営】「区政会議」において、区の施策や事業についての意見や評価をいただく。(680千円)</p> | |

| 「市政改革プラン2.0」に基づく取組等 | |
|---------------------|---|
| 主な取組項目 | 取組内容 |
| 【歳入の確保(独自財源の確保)】 | ・区広報紙、ホームページバナー、庁舎壁面広告の公募を行うとともに、自動販売機使用料収入、駐車場収入や古紙売却などを行い、収入の確保に向けて取組む。 |
| 主な取組項目 | 取組内容 |
| 【歳入の確保(特定財源の確保)】 | ・多文化共生教育スタートアップ事業について、一般財団法人自治体国際化協会に対して助成金を申請し財源の確保に取組む。 |
| 主な取組項目 | 取組内容 |
| 【歳出等の削減】 | ・備品・消耗品等の購入について、経費の削減に努める。 |
| 主な取組項目 | 取組内容 |
| 【市民利用施設の見直し】 | ・現区民センター、老人福祉センター、子ども子育てプラザの運営経費を基本とした、(仮称)区画整理記念・交流会館の運営経費の確保及び効率的な運営に取組む。 |

◆自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

大阪港開港150年記念行事を実施するとともに、天保山周辺施設を集客と地域交流の場「みなとオアシス」として国の認定を受け、「築港・天保山まちづくり計画」を策定し、日常の賑わい創出の方向性を示した。防災面では津波襲来時の区を超えた水平避難の検討を湾岸エリア5区で連携し進めた。引き続き産業と文化の両面の発展をめざしたまちづくりを進める。

解決すべき課題と今後の改善方向

少子・高齢化社会の中で、子育て支援や高齢者の見守りなど身近な生活課題の解決に住民どうしが協力して取り組むためには、豊かな地域コミュニティの形成や多様な協働による活力と潤いのある地域社会をめざす必要がある。そのため①昔ながらの人情あふれる地域のつながりの継続、②集客やメディア発信等によるまちのイメージアップ、③公民連携で地域の経済力と価値を向上させるエリアリノベーションを柱に、区内の実情や特性に即した施策・事業を総合的に展開し、まちづくりを推進するとともに、区民が利用しやすい親切で信頼される区役所づくりを進める。